

「With コロナ時代における未来アイデア」応募用紙

○応募者

氏名・法人

・団体名	株式会社 T-ICU
(法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデアの部門を下記から1つ選んで丸(○)を記入してください。			
	未来デザイン部門	○	未来テクノロジー部門

アイデア名	②遠隔モニタリングシステム『クロスバイ』
-------	----------------------

提案の概要(200字以内)
<p>離れた場所からでも患者や医療者へ寄り添うための遠隔モニタリングシステム。 ベッドサイドに配置した高性能カメラにより、これまでにない患者観察が可能に。 患者の表情や顔色、呼吸様式の観察までもが可能となり、さらに人工呼吸器を含む各種医療機器と接続することで、多面的な患者情報を院内の離れた場所へ届ける。また高音質な通信機能によって、患者や医療者と「距離を感じさせない」コミュニケーションが可能になる。 (196字)</p>

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
<p>今なお続く新型コロナウイルス感染症により、その受け入れ病院では医療の提供と医療従事者への感染防止が喫緊の課題となった。重症患者ほどより厳重な治療や看護が必要となる中、「接触機会の増加」と「感染防護」という相反する課題を突きつけられ、個人防護具の不足が進む現場においてはその両立がますます困難になってきている。</p>

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由
<p>集中治療専門医が監修。高性能カメラと高度通信機器は、まるでベッドサイドにいるような診察とコミュニケーションを可能にします。Green Zone にいながら Red Zone の新型コロナウイルス患者の診察が可能です。患者と顔を合わせたコミュニケーションが可能になり、対話の機会を増やします。 そして、医師は診療の質を保ちながらベッドサイドを離れることが可能になります。それは、別の診療や学術活動など様々な可能性を広げます。</p>

提案の詳細 ※様式自由
添付資料「クロスバイ_提案書」を参照

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡張して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又はPDF形式)で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合わせて最大20MBまでです。